

研究タイトル：

唐代文学研究／漢文教育／学習支援



氏名：	鳴海 雅哉／NARUMI Masaya	E-mail：	m-narumi@hakodate-ct.ac.jp
職名：	教授	学位：	修士(教育学)
所属学会・協会：	日本中国学会, 中国文化学会, 全国漢文教育学会, 函館人文学会 等		
キーワード：	杜甫, 韋荘, 晩唐, 詩詞, 漢文教育, 松前漢詩, 学習支援		
技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文読解について ・国語科教育全般について ・学習支援全般について 		

研究内容： ①唐詩・詩語の研究, ②漢文教育の意義の追究, ③効果的な学習支援の研究

①唐代にもっとも盛んに行われた「詩」(一般的には「漢詩」と呼ばれる)について, I 前時代の作品が唐詩にどのような影響を与えたか, II 唐詩・詩語・詩人がどのように後代に影響を与えたかについて研究している。

具体的には, I については, 詩に用いられる詩語が, どのような来歴を経ているのか, 詩にはどのような意として用いられているかに関心を持っている。

※参考

- ・鳴海雅哉「韋荘の詠ずる夕暮れの風景について—「夕陽」を中心として—」(「北海道教育大学紀要(人文科学・社会科学編)」, 第 60 巻第 2 号, 2010 年 2 月)
- ・鳴海雅哉「韋荘の詠じる「雲(白雲)」について」(「新しい漢字漢文教育」, 第 51 号, 2010 年 11 月)

II については, 特に晩唐期(836~906 年)の詩人たちにとって, 杜甫(712~770 年)がどのような存在であったか, 杜詩がどのような影響を与えたかに興味がある。

※参考

- ・鳴海雅哉「晩唐詩人韋荘における杜詩の影響」(「中国文化」, 第 69 号, 2011 年 6 月)

②現代の中学校・高等学校国語科カリキュラムにある「漢文」分野の現代的意義を追究しながら, 時代と生徒に合った授業法や指導法などを探っている。

※参考

- ・鳴海雅哉「これからの漢文教育への一視点」(『北海道から生徒がいける高校国語科の授業実践』, 共同文化社, 2006 年 5 月)
- ・鳴海雅哉「PISA型「読解力」育成における漢文教育の可能性」(「函館国語」, 第 22 号, 2006 年 11 月)
- ・他, 教科書指導書等を執筆

③学習意欲に乏しく, 学習時間が減っている現代の学生(生徒)にとって, どのようなアプローチで臨めば学習しようとするのか, どのような環境を用意すればよいのかなど, 高等教育機関としての学習支援のあり方について研究している。

※参考

- ・鳴海雅哉「これからの高専における学生指導について—学級担任論—」(「函館高専紀要」, 第 47 号, 2013 年 3 月)
- ・鳴海雅哉「函館高専「学習支援室」の設立と現状について」(「論文集「高専教育」」, 第 37 号, 2014 年 3 月)
- ・鳴海雅哉「函館高専『コミュニケーション科目』の意義と方向性について」(「函館高専紀要」, 第 50 号, 2016 年 3 月)

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)